

2023年12月26日公開

共生研究・卒業論文の履修と提出手引き  
(2024年2月末までの暫定版)

星槎大学

## 目次

1. 共生研究・卒業論文の履修の流れ	1
2. 共生研究・卒業論文の履修に向けて	2
3. 履修相談 <b>希望者のみ</b>	2
(1) 共生研究・卒業論文プレガイダンス(Zoom)	
(2) 共生研究・卒業論文個別相談(Zoom およびメール)	
4. 共生研究・卒業論文希望申請 <b>全員に必要な手続き</b>	3
5. 共生研究と卒業論文について	5
6. 卒業申請 <b>全員に必要な手続き</b>	7
7. 提出規定	8
共生研究論文	
卒業論文	
卒業制作	
8. 再履修についての注意事項	14

## 1. 共生研究・卒業論文の履修の流れ

※卒業制作は2024年度から共生研究に含まれます。

共生研究・卒業論文は、本学の学修の集大成となる学士取得のための科目です。入学年から卒業予定を想定し、計画的に履修を進めてください。ここでは履修に必要な手続きをご案内します。履修に必要な手続きは、4月生(履修期間が4月から翌年3月まで)は卒業を希望する前年度の3月に、10月生(履修期間が10月から翌年9月)は前年度の9月に、必要です。

<b>&lt;共通&gt; 履修相談 希望者のみの自由参加(事前申し込み制)</b>	
<b>【共生研究・卒業論文プレガイダンス】</b>	<b>【共生研究・卒業論文個別相談】</b>
開催時期: 毎年3月と9月に開催 対象: 共生研究・卒業論文の履修の前年度 実施形態: 事前の動画教材※p.2参照視聴+WEBライブ (Zoom)でのグループ相談 ねらい: ①自分にあった科目の選択についての相談、 ②研究テーマの選び方、決め方についての相談	開催時期: 毎年3月と9月に開催 受講時期: 共生研究・卒業論文の履修の前年度 実施形態: 事前の動画教材※p.2参照視聴+WEBライブ (Zoom)での個別相談(メール対応も可) ねらい: ①卒業論文・共生研究希望申請のサポート、 ②科目選択、研究テーマ選び、研究指導教員についてアドバイス



<b>&lt;共通&gt; 共生研究・卒業論文希望申請 必須の手続き</b>
希望申請は①履修条件を満たしていること、②希望している研究テーマ等を確認するために必要な手続きです。 <u>期限内に申請できていない場合は、希望する年度に履修ができなくなりますので、十分にご注意ください。</u> 申請時期: 履修を予定している前年度 <b>4月生は3月1日から3月15日 / 10月生は9月1日から9月15日</b> ※ただし履修年度に4年次編入し、1年間で卒業を希望している場合は期日が異なります。 <b>4月生は3月1日から4月20日 / 10月生は9月1日から10月20日</b> 申請方法: Google フォームからの入力



履修条件等の確認後に、履修許可を行います(履修登録の手続きは他科目と異なります)



<b>1回目スクーリング (4月生は毎年5月 / 10学生は毎年11月)</b>	
<b>[共生研究] 1回目スクーリングのねらい</b> ①研究ガイダンス(研究倫理含む) ②多領域のミニプレゼンに参加し、共生・共生科学についてディスカッション・対話を深める。	<b>[卒業論文] 1回目スクーリングのねらい</b> ①研究ガイダンス(研究倫理含む) ②多様なテーマの中間発表に対して積極的にディスカッションを行い、自身の研究に生かすことを目指す。

研究指導

<b>2回目スクーリング (4月生は毎年11月 / 10学生は毎年5月)</b>	
<b>[共生研究] 2回目スクーリングのねらい</b> ①研究ガイダンス(研究倫理含む) ②ミニプレゼンで自身の研究成果を発表し、共生・共生科学についてのディスカッション・対話をおして、自身のこれまでの研究成果を省察する。	<b>[卒業論文] 2回目スクーリングのねらい</b> ①研究ガイダンス(研究倫理含む) ②自身の研究成果を中間発表し、積極的なディスカッションをおして、自身のこれまでの研究成果を省察する。

**<共生研究・卒業論文共通> 卒業申請 必須の手続き**

2回目のスクーリング終了後から当該の月末までに、卒業申請を行います。  
※期限内に卒業申請が提出されていない場合は、希望する年度に卒業判定されない場合がありますので、十分に注意してください。

研究指導

**共生研究論文・共生研究制作(報告書含む)・卒業論文 提出**

## 2. 共生研究・卒業論文の履修に向けて

学士取得を目指す方は入学・編入学時から計画的に取り組み、共生研究・卒業論文の履修を予定する前年度までに、以下の履修に必要な手続きを行ってください。

### 履修計画を立てて取り組みましょう。

学士取得の要件(卒業要件)は、入学年次・専攻によって異なります。2023 年度学生ハンドブック p.68以降の入学年次・専攻別の卒業要件を確認し、計画的に学修に取り組んでください。なお、共生研究・卒業論文は、卒業を希望する年度の履修を推奨しています。

### 動画教材を視聴して、履修準備を進めましょう。

本学では以下の動画教材を学生向けに公開しています。共生研究・卒業論文の履修だけではなく、その他の科目履修にも役立ちますので、ぜひ視聴してください。

[動画教材 2023 年度版] ※2024 年 3 月に一部改訂いたします。

①卒業科目ガイダンス	<a href="https://vimeo.com/735381029">https://vimeo.com/735381029</a>
②共生科学について	<a href="https://vimeo.com/735381076">https://vimeo.com/735381076</a>
③研究倫理	<a href="https://vimeo.com/735381166">https://vimeo.com/735381166</a>
④文献検索	<a href="https://vimeo.com/735381225">https://vimeo.com/735381225</a>
⑤大学図書館の活用	<a href="https://vimeo.com/735381285">https://vimeo.com/735381285</a>

※5 本の動画教材は、履修前の手続きである希望申請前に必須となっています。繰り返し視聴して、大学での学びに活かしてください。

## 3. 履修相談

毎年 3 月と 9 月に共生研究・卒業論文の履修相談の機会を設けています。科目選択ならびにテーマ決定に不安のある学生は、履修相談の機会を積極的に活用してください。

### (1) 共生研究・卒業論文プレガイダンス(Zoom)

※希望者のみの自由参加(事前申し込み制)

大学での学修の集大成である共生研究・卒業論文の研究ガイダンスならびに履修に関する相談(「どの科目を選択したらよいのか」「研究テーマが選べない」「研究テーマにあった科目がどれなのか」等)をグループで行います。

[開催時期] 毎年 3 月と 9 月

※参加申込用 Google フォームは、開催前月に学生ポータルサイト上でアナウンスいたします。

[実施形態] 事前の動画教材視聴+WEB ライブ(Zoom)でのグループ相談

[対 象] 共生研究・卒業論文の履修登録の 1 年から半年前の受講を推奨しています。

プレガイダンス受講前に動画教材の視聴(合計時間 60 分程度)が必須となります。

[ね ら い] ①自分にあった科目の選択についての相談

②研究テーマの選び方、決め方について相談

## (2) 共生研究・卒業論文個別相談(Zoom およびメール)

※希望者のみの自由参加(事前申し込み制)

履修手続きに関するサポートならびに大学での学修の集大成である共生研究・卒業論文の履修に関する相談(「どの科目を選択したらよいのか」「研究テーマが選べない」「研究テーマにあった科目がどれなのか」等)を個別で行います。

[開催時期] 毎年3月と9月

※参加申込用 Google フォームは、開催前月に学生ポータルサイト上でアナウンスいたします。

[実施形態] 事前の動画教材視聴+WEB ライブ(Zoom)での個別相談(メール対応も可能です)

[対 象] 共生研究・卒業論文の履修登録の1年から半年前の受講を推奨しています。

個別相談前に動画教材の視聴(合計時間 60 分程度)が必須となります。

[ね ら い] ①共生研究・卒業論文希望申請のサポート

②科目選択、研究テーマ、研究指導教員についてのアドバイス

## 4. 共生研究・卒業論文希望申請 **履修前に全員に必要な手続きです**

希望申請は、①共生研究・卒業論文の履修要件を満たしていること、②希望する科目・研究テーマ等を確認するために必要な手続きです。期日内に申請が完了していない場合、希望する年度に履修登録ができず、次年度の履修となりますので、十分にご注意ください。

### (1) 共生研究・卒業論文の履修条件

詳細は 2023 年度学生ハンドブック p.63 を必ず確認ください。

#### 【履修条件】<共生研究・卒業論文共通>

A から D のすべての条件を満たしている学生が定められた期間内に希望申請していること(E を満たしていること)が履修条件となります。

A: 必修科目をすべて履修済みもしくは履修予定の学生

B: 各科目群から定められた単位数を履修済みもしくは履修予定の学生

(専攻ごとに定められた単位数は異なっていますので各自、卒業要件をよく確認してください)

C: 既修得単位が 76 単位以上(資格関連科目群除く)である学生

D: 4年次以上である学生

E: 共生研究・卒業論文を履修する前年度の定められた期日内に希望申請を行うこと

※ただし共生研究、卒業論文の 2 科目を重複して履修することはできません。

### (2) 申請時期<共生研究・卒業論文共通>

期日を過ぎると申請は受け付けられませんので、十分にご注意ください。

4 月生:(履修期間 4 月から翌年 3 月)履修予定の前年度の 3 月 1 日から 3 月 15 日

10 月生:(履修期間 10 月から翌年 9 月)履修予定の前年度の 9 月 1 日から 9 月 15 日

履修年度に 4 年次編入し、1 年間で卒業を希望している場合は期日が異なります。

4 月生:(履修期間 4 月から翌年 3 月)履修予定の前年度の 3 月 1 日から 4 月 20 日

10 月生:(履修期間 10 月から翌年 9 月)履修予定の前年度の 9 月 1 日から 10 月 20 日

※4 年次編入し、1 年間で卒業を希望している場合は、共生研究を推奨しています。

### (3)申請方法

- ・Google フォームでの申請となります。
- ・Google フォームの入力には、大学から付与した Google アカウントでのログインと学籍番号@kyosei.seisa.ac.jpのメールアドレスが必要となります。ログイン用パスワードがわからない場合は、学生ポータルサイトの質問フォームからお問い合わせください。
- ・申請用 Google フォームの URL は、申請期間のおよそ 1 か月前に学生ポータルサイト上でお知らせいたします。
- ・申請用 Google フォームは、申請期間初日の 9:00 から提出期日の 24:00まで公開しています。提出期日を過ぎた時点で入力できなくなりますので、時間に余裕をもって手続きしてください。
- ・Google フォームに提出後、大学から付与しているメールアドレスに、Google フォームからメールが届きます(自動配信)。提出後完了のメールが届かない場合は、入力が完了していないので、再度提出してください。
- ・Google フォームからのメールが受理通知となりますので、必ず保存しておいてください。

### (4)希望申請の入力項目

#### [注意事項]

希望する科目・テーマが決まっていない等の場合は、「プレガイダンス」あるいは「個別相談」の履修相談の機会を積極的に活用してください。科目やテーマが未定の場合、1 回目のスクーリング以降に研究指導教員と相談しながら、研究テーマを決めることができる「共生研究」を推奨します。

#### ①メールアドレス(学籍番号@kyosei.seisa.ac.jp)

必ず大学から付与したメールアドレスを記入してください

#### ②学籍番号

#### ③氏名(漢字表記でフルネームで入力してください)

#### ④所属専攻(選択肢から選んでください)

#### ⑤マンツーマン指導教員(学生ポータルサイト上で確認してから記入してください)

#### ⑥履修条件の確認チェックリスト

上記の A から D の履修条件を確認のうえ、チェックしてください

#### ⑦動画教材の視聴確認

上記の 5 本の動画教材(合計 60 分程度)を必ず視聴し、視聴が完了してから入力してください。

#### ⑧希望する科目の選択 未定の場合は共生研究を推奨しています。

共生研究あるいは卒業論文のいずれかを選択してください。ただし科目が決まっていない場合は未定を選択してください。

#### ⑨希望するテーマ 未定の場合は共生研究を推奨しています。

希望するテーマについてその概要を記入してください。ただしテーマが決まっていない場合は未定と記入してください。

## 5. 共生研究と卒業論文について

共生研究と卒業論文は、大学の学修の集大成の科目です。これらの科目をとおして、共生・共生科学について論じる姿勢を身に付けることを目指します。したがって、他の科目とは異なり、研究指導教員の下、1年間をとおしてテーマについて研究を行い、その成果をまとめ、共生研究論文、共生研究制作・報告書、卒業論文の提出を目指します。

共生研究では、学生自身の興味から共生・共生科学に関するテーマを選択し、教員とのディスカッション・対話をとおして研究を進めます。卒業論文では、学生自身の興味のあるテーマについてより専門的に研究を深め、共生・共生科学について論じます。

### 【共生研究】

#### スクーリング

履修年度内に開催される2回のスクーリング(4月生は5月と11月/10月生は11月と翌年5月)を受講が必要です。

スクーリングは、研究ガイダンス、ミニプレゼン、研究指導で構成されています。1回目スクーリングでは、多領域のミニプレゼンに参加し、共生・共生科学についてディスカッション・対話を深めます。2回目スクーリングのミニプレゼンでは、自身の研究成果を発表し、共生・共生科学についてのディスカッション・対話をとおして、自身のこれまでの研究成果を省察します。

#### 研究指導体制

学生1名につき研究指導教員1名が担当します。担当教員の研究指導の下、テーマの設定、資料・文献の収集、研究計画の作成、先行研究の分析等の研究過程を経て、共生研究論文の執筆あるいは共生研究の制作・報告書の完成に向けた研究活動を1年間で取り組みます。

#### 最終提出物

1年間の研究成果を以下のいずれかの方法でまとめてください。

##### <共生研究論文>

研究成果を5000字程度の論文スタイルにまとめることを目指します。

##### <共生研究制作物・報告書>

共生・共生科学の研究成果としての制作物とその報告書(制作物の制作過程における計画・対話・制作過程の記録2000から5000字程度)の完成を目指します。

※ただし、構成および体裁等については、以下の提出規定にしたがってください。

#### 評価基準

##### <共生研究論文の評価基準>

- (1) 共生・共生科学について論じていること(ディプロマポリシーを満たしていること)
- (2) 研究テーマについて論理的な構築ができていること
- (3) 論文の構成が適切であること
- (4) 正確に引用が記述され、かつ捏造、改ざん、盗用がないこと
- (5) 文章表現が適切であること

### <共生研究制作・報告書の評価基準>

- (1) 共生についての対話をとおして、共生についての独自の表現によって制作され、その計画・対話・制作過程が記録されていること(ディプロマポリシーを満たしていること)
- (2) 著作権法を遵守し、正確に引用が記述され、かつ捏造、改ざん、盗用がないこと
- (3) 報告書の文章表現が適切であること

### 【卒業論文】

#### スクーリング

履修年度内に開催される2回のスクーリング(4月生は5月と11月/10月生は11月と翌年5月)を受講が必要です。

スクーリングでは、研究ガイダンス、中間発表、研究指導で構成されています。1回目スクーリングでは、多様なテーマの中間発表に対して積極的にディスカッションを行い、自身の研究に生かすことを目指します。2回目スクーリングでは、自身の研究成果を中間発表し、積極的なディスカッションをとおして、自身のこれまでの研究成果を省察します。

#### 研究指導体制

学生1名につき主研究指導教員と副研究指導教員の計2名で担当します。主研究指導教員の研究指導の下、テーマの設定、先行研究の分析、研究仮説(リサーチクエスション)の設定、研究計画の作成、研究の実施(調査、観察、文献調査等)、結果の分析・考察等の研究過程を経て、卒業論文の執筆に向けた研究活動を1年間で取り組みます。適宜、副研究指導教員のアドバイスを受けることができます。

#### 最終提出物

1年間の研究成果を卒業論文(20000字程度)としてまとめてください。  
※ただし、構成および体裁等については、以下の提出規定にしたがってください。

#### 評価基準

##### <卒業論文の評価基準>

- (1) 専門領域をより深めるテーマから、共生・共生科学について論じていること(ディプロマポリシーを満たしていること)
- (2) テーマについて調べることに加え、独自の視点、独自の主張をしていること
- (3) 論文の構成が適切であること
- (4) 先行研究(学術書・学術論文等の文献)を踏まえていること
- (5) 正確に引用が記述され、かつ捏造、改ざん、盗用がないこと
- (6) 文章表現が適切であること

### 【研究指導教員の役割】

「共生研究」ならびに「卒業論文」は、学生が研究を進める上で適切な方法を学び、研究の質を確保するために、研究指導教員による研究指導を受けることが必要となります。



### <共生研究>

研究指導教員は本学学部担当教員が担当します。

- ①学生の研究計画や進捗管理、研究活動・成果の評価など、研究全般にわたって指導を行います。
- ②学生の研究に対して適切なアドバイスを提供し、研究の質を向上させるための支援を行います。
- ③学生の研究活動に対して適切な評価を行い、最終的な研究成果を適切に評価します。

### <卒業論文>

主研究指導教員と副研究指導教員は本学学部担当教員が担当します。

- ①主研究指導教員は、学生の研究計画や進捗管理、研究活動・成果の評価など、研究全般にわたって指導を行います。
- ②主研究指導教員は、学生の研究に対して適切なアドバイスを提供し、研究の質を向上させるための支援を行います。
- ③主研究指導教員は、学生の研究活動に対して適切な評価を行い、最終的な研究成果を適切に評価します。
- ④副研究指導教員は、主に卒業論文の審査を担当しますが、必要に応じて、主研究指導教員と連携して、①から③の役割を担う場合や学生の相談にあたる事が可能です。

大学は、研究指導教員が適切な研究指導を行うための支援を行っています。

## 6. 卒業申請 **履修年度に全員に必要な手続きです**

共生研究・卒業論文の履修年度の2回目スクーリング後に、修得単位の状況(卒業要件の確認)ならびに卒業時期の希望調査として、卒業申請を行うことを求めています。

### (1)申請時期 <共生研究・卒業論文共通>

期日を過ぎると卒業申請は受け付けられませんので、十分にご注意ください。また卒業申請を提出されていない場合は希望する年度に学士取得ができない場合がありますので、期日内に卒業申請の手続きを完了してください。

4月生 2回目スクーリング後の11月のスクーリング翌日から11月30日まで

10月生 2回目スクーリング後の5月のスクーリング翌日から5月31日まで

### (2)卒業要件

卒業要件は、入学年次ならびに専攻によって異なります。各自、2023年度学生ハンドブック p.68以降の入学年次・専攻別の卒業要件を確認してください。

### (3)入力項目

<全専攻共通項目>

- ①メールアドレス(学籍番号@kyosei.seisa.ac.jp)

必ず大学から付与したメールアドレスを記入してください

- ②学籍番号

③氏名(漢字表記でフルネームで入力してください)

④所属専攻(選択肢から選んでください)

⑤卒業要件の確認 履修中科目も含む

⑥卒業時期の確認

⑦資格に関する事項

社会福祉主事(任用資格)は全専攻対象となります。

児童指導員(任用資格)は初等教育専攻ならびに福祉専攻が対象となります。

<福祉専攻のみの項目>

⑧社会福祉士の国家試験の受験資格について

⑨社会福祉士受験資格修得状況

## 7. 提出規定

※卒業制作の提出規定はスクーリング時の配布資料を確認ください。

最終提出物(共生研究論文、共生研究制作物・報告書、卒業論文)は、以下の提出規定にしたがって提出することを求めています。

### 【共生研究】

<共生研究論文>

#### [書式]

(1) A4 サイズ(縦)を使用し、横書きとする。字数は 5000 字程度とする。文字の大きさは 10.5 ポイントとする。1 ページあたり 35 字×32 行~35 行とする。

(2)以下の書式を基本とする。

ページの余白は上下左右とも 3cm を基本とする。

字体は和文 MS 明朝、英字・数字 Century または Times New Roman を基本とする。

(3)図表・写真等も含めて 4 から 5 枚程度とする。

※なお研究指導教員の許可を受けて手書きにする場合は、A4 サイズ(縦)、400 字詰め原稿用紙で 12 から 13 枚程度とする。

#### [共生研究論文の構成]

論文全体は次のような構成を原則とする。

①表紙

スクーリング時に配布される見本に沿って必要事項を記載し、作成すること。

②本文

論文構成を基本とし、章・節のタイトルを付け、作成すること。本文の下の余白にページ番号を入れること。

③引用文献

共生研究論文を作成するにあたって使用したすべての文献リストをまとめたもの。引用文献リストの体裁は諸学会の規程にあわせることを基本とし、研究指導教員の指示に従ってください。

※謝辞および調査資料等がある場合には、③以降に入れる。

※字数の 5000 字程度に含まれるのは、②本文③引用文献とする。①表紙は含まない。

## [共生研究論文の提出方法と提出期日]

### (1)提出方法

共生研究論文の体裁は PDF とし、文書タイトルは【学籍番号\_氏名\_共生研究論文】とし、スクーリング時に配布される資料に示される共生研究論文提出用 Google フォームに提出してください。

※Google フォームは、提出期間初日 9 時から提出期日 24 時までしか入力できませんので、ご注意ください。

### (2)提出期日

4 月生 毎年 1 月 20 日から 31 日

10 月生 毎年 7 月 20 日から 31 日

※提出期日を過ぎたものは一切受け付けませんので、十分に注意してください。

### (3)Google フォームでの提出について

・Google フォームの入力には、大学から付与した Google アカウントでのログインと学籍番号@kyosei.seisa.ac.jpのメールアドレスが必要となります。ログイン用パスワードがわからない場合は、学生ポータルサイトの質問フォームからお問い合わせください。

・提出用 Google フォームは、提出期間初日の 9:00 から提出期日の 24:00 まで公開しています。提出期日を過ぎた時点で入力できなくなりますので、時間に余裕をもって手続きしてください。

・Google フォームに提出後、大学から付与しているメールアドレスに、Google フォームからメールが届きます(自動配信)。提出後完了のメールが届かない場合は、入力が完了していないので、再度提出してください。

・Google フォームからのメールが共生研究論文の受理通知となりますので、必ず保存しておいてください。

・Google フォームからの提出ができない場合、事前に研究指導教員に相談したうえで、提出期間前のスクーリング時に指定された期間内に、共生研究・卒業論文係【[tankyu@seisa.ac.jp](mailto:tankyu@seisa.ac.jp)】宛に、希望する提出方法をメールください。郵送先および必要な手続きを通知いたします。ただし、大学(横浜事務局等)への持ち込みは対応しておりません。

・郵送での提出が許可された場合、提出期間内の消印有効となります。提出期間前また提出期間後の消印の場合は受け付けられませんので、ご注意ください。

※郵便事故等で紛失の場合、追跡できるよう、必ず授受の記録が残る配達手段にて送付してください。

## [注意事項]

(1)共生研究論文は提出規定の書式・構成にしたがって作成ください。

(2)共生研究論文は研究指導教員の提出許可を得てから、提出してください。許可を得ずに提出されたものは受理されません。

(3)再提出または差し替えは一切受け付けられませんのでご注意ください。

Google フォームは 1 回限りの入力となります。

(4)提出期間前の提出および提出期日を過ぎたものは一切受領されませんので、十分に注意してください。

(5)引用文献を明示し、他人の著作権の尊重及び著作権法の「引用」の要件を充足していること。

(6)研究倫理上、個人情報の取り扱いについては、星槎大学研究倫理規程に従っていること。

### <共生研究制作物・報告書>

#### [書式]

(1)報告書は、A4 サイズ(縦)を使用し、横書きとする。字数は 2000 から 5000 字程度とする。文字の大きさは 10.5 ポイントとする。1 ページあたり 35 字×32 行~35 行とする。

(2)以下の書式を基本とする。

ページの余白は上下左右とも 3cm を基本とする。

字体は和文 MS 明朝、英字・数字 Century または Times New Roman を基本とする。

※なお研究指導教員の許可を受けて手書きにする場合は、A4 サイズ(縦)、400 字詰め原稿用紙で 5 から 13 枚程度とする。

(3)制作物の書式等の体裁・構成は、研究指導教員の指示に従うこと。

#### [報告書の全体構成]

制作物に添付する報告書は、以下の順番でまとめること。

##### ①表紙

スクーリング時に配布される見本に沿って必要事項を記載し、作成すること。

##### ②報告書

報告書は、制作物の制作過程における計画・対話・制作過程の記録をまとめたもので構成すること。本文の下の余白にページ番号を入れること。

##### ③引用文献

使用した資料等がある場合は、引用文献リストを作成すること。引用文献リストの体裁は諸学会の規程にあわせることを基本とし、研究指導教員の指示に従ってください。

※謝辞および調査資料等がある場合には、③以降に入れる。

※字数の 2000 から 5000 字程度に含まれるのは、②本文③引用文献とする。①表紙は含まない。

#### [共生研究制作・報告書の提出方法と提出期日]

##### (1)提出方法

##### [制作物と報告書を PDF で提出する場合]

共生研究制作物と報告書の体裁は PDF とし、文書タイトルは【学籍番号\_氏名\_共生研究制作・報告書】とし、スクーリング時に配布される資料に示される共生研究制作・報告書提出用 Google フォームに提出してください。

※Google フォームは、提出期間初日 9 時から提出期日 24 時までしか入力できませんので、ご注意ください。

##### [制作物が PDF 化できない場合(報告書は PDF)]

PDF 化できない制作物(例:絵画、造形など)がある場合は、報告書(PDF)のみ Google フォーム

からの提出とし、事前に研究指導教員に相談のうえ、提出期間前のスクーリング時に指定された期間内に、共生研究・卒業論文係【[tankyu@seisa.ac.jp](mailto:tankyu@seisa.ac.jp)】宛に郵送希望とメールしてください。郵送先および必要な手続きを通知いたします。

※郵便事故等で紛失の場合、追跡できるよう、必ず授受の記録が残る配達手段にて送付してください。

### [制作物の郵送が難しい場合(報告書は PDF)]

制作物の郵送が難しい場合は、報告書(PDF)のみ Google フォームからの提出とし、事前に研究指導教員に相談のうえ、提出期間前のスクーリング時に指定された期間内に、共生研究・卒業論文係【[tankyu@seisa.ac.jp](mailto:tankyu@seisa.ac.jp)】宛に、横浜事務局へ持参希望とメールしてください。個別に日程調整をいたします。定められた日時に横浜事務局へ持参ください。

※定められた日時以外には受け付けられませんので、注意してください。

### (2)提出期日

4月生 毎年1月20日から31日

10月生 毎年7月20日から31日

※提出期日を過ぎたものは一切受け付けませんので、十分に注意してください。

### (3)Google フォームでの提出について

・Google フォームの入力には、大学から付与した Google アカウントでのログインと学籍番号@kyosei.seisa.ac.jpのメールアドレスが必要となります。ログイン用パスワードがわからない場合は、学生ポータルサイトの質問フォームからお問い合わせください。

・提出用 Google フォームは、提出期間初日の9:00から提出期日の24:00まで公開しています。提出期日を過ぎた時点で入力できなくなりますので、時間に余裕をもって手続きしてください。

・Google フォームに提出後、大学から付与しているメールアドレスに、Google フォームからメールが届きます(自動配信)。提出後完了のメールが届かない場合は、入力が完了していないので、再度提出してください。

・Google フォームからのメールが共生研究制作・報告書の受理通知となりますので、必ず保存しておいてください。

### [注意事項]

(1)共生研究制作・報告書は提出規定の書式・構成にしたがって作成ください。

(2)共生研究制作・報告書は研究指導教員の提出許可を得てから、提出してください。許可を得ずに提出されたものは受理されません。

(3)再提出または差し替えは一切受け付けられませんのでご注意ください。

Google フォームは1回限りの入力となります。

(4)提出期間前の提出および提出期日を過ぎたものは一切受領されませんので、十分に注意してください。

(5)提出された制作物および報告書は返却しないことを原則とします。なお、制作物については、以上の規定は最低限の原則であり、詳しくは各研究指導教員の指示によるものとします。返却等、そ

の他の不明な点は各研究指導教員に相談してください。

(6)文化庁「令和4年度著作権テキスト」に従い、美術、映画、写真等の著作物の使用は著作権法にのっとっていること。

(7)研究倫理上、個人情報の取り扱いについては、星槎大学研究倫理規程に従っていること。

## 【卒業論文】

### [書式]

(1) A4 サイズ(縦)を使用し、横書きとする。字数は 20,000 字程度、文字の大きさは 10.5 ポイント、1 ページあたり 35 字×32 行～35 行とする。

(2)以下の書式を基本とする。

ページの余白は上下左右とも 3cm を基本とする。

字体は和文 MS 明朝、英字・数字 Century または Times New Roman を基本とする。

(3)図表・写真等も含めて 17 から 18 枚程度とする。

※なお主研究指導教員の許可を受けて手書きにする場合は、A4 サイズ(縦)、400 字詰め原稿用紙で 50 枚程度とする。

### [卒業論文の構成]

論文全体は次のような構成を原則とする。

#### ①表紙

スクーリング時に配布される見本に沿って必要事項を記載し、作成すること。

#### ②論文要旨

冒頭にタイトル・学籍番号・氏名を記載のうえ、本文の内容を 800 字程度にまとめたものを 1 ページ以内に必ず収めること。なお、論文要旨とは論文の概要を指します。論文全体を読まなくてもその研究の序論から結論までが理解できるようにしたものを指します。

#### ③目次

本文以下の構成を列挙し、ページ数を示したものを。

#### ④本文

論文構成にそって執筆し、章・節のタイトルを付け、作成すること。本文の下の余白にページ番号を入れること。

#### ⑤引用文献

卒業論文を作成するにあたって使用したすべての文献リストをまとめたもの。引用文献リストの体裁は諸学会の規程にあわせることを基本とし、主研究指導教員の指示に従ってください。

⑥謝辞および調査資料等がある場合には、⑤以降に入れる。

※字数の 20,000 字程度に含まれるのは④本文⑤引用文献とする。①②③⑥は含まない。

### [卒業論文の提出方法と提出期日]

#### (1)提出方法

卒業論文の体裁は PDF とし、文書タイトルは【学籍番号\_氏名\_卒業論文】とし、スクーリング時に配布される資料に示される卒業論文提出用 Google フォームに提出してください。

※Google フォームは、提出期間初日 9 時から提出期日 24 時までしか入力できませんので、ご注

意ください。

## (2)提出期日

4月生 毎年1月20日から31日

10月生 毎年7月20日から31日

※提出期日を過ぎたものは一切受け付けませんので、十分に注意してください。

## (3)Google フォームでの提出について

・Google フォームの入力には、大学から付与した Google アカウントでのログインと学籍番号@kyosei.seisa.ac.jpのメールアドレスが必要となります。ログイン用パスワードがわからない場合は、学生ポータルサイトの質問フォームからお問い合わせください。

・提出用 Google フォームは、提出期間初日の9:00から提出期日の24:00まで公開しています。提出期日を過ぎた時点で入力できなくなりますので、時間に余裕をもって手続きしてください。

・Google フォームに提出後、大学から付与しているメールアドレスに、Google フォームからメールが届きます(自動配信)。提出後完了のメールが届かない場合は、入力が完了していないので、再度提出してください。

・Google フォームからのメールが卒業論文の受理通知となりますので、必ず保存しておいてください。

・Google フォームからの提出ができない場合、事前に主研究指導教員に相談したうえで、2024年1月10日から19日の間に、共生研究・卒業論文係【[tankyu@seisa.ac.jp](mailto:tankyu@seisa.ac.jp)】宛に、希望する提出方法をメールください。郵送先および必要な手続きを通知いたします。ただし、大学(横浜事務局等)への持ち込みは対応しておりません。

・なお郵送での提出が許可された場合、提出期間内の消印有効となります。提出期間前また提出期間後の消印の場合は受け付けられませんので、ご注意ください。

※郵便事故等で紛失の場合、追跡できるよう、必ず授受の記録が残る配達手段にて送付してください。

## [注意事項]

(1)卒業論文は提出規定の書式・構成にしたがって作成ください。

(2)卒業論文は主研究指導教員の提出許可を得てから、提出してください。許可を得ずに提出されたものは受理されません。

(3)再提出または差し替えは一切受け付けられませんのでご注意ください。

Google フォームは1回限りの入力となります。

(4)提出期間前の提出および提出期日を過ぎたものは一切受領されませんので、十分に注意してください。

(5)引用文献を明示し、他人の著作権の尊重及び著作権法の「引用」の要件を充足していること。

(6)研究倫理上、個人情報の取り扱いについては、星槎大学研究倫理規程に従っていること。

## 8. 再履修についての注意事項

- ・「共生研究」と「卒業論文」は他の科目の再履修とは扱いが異なりますので、十分にご注意ください。
- ・その理由は、履修年度内に2回のスクーリング受講を終える必要があるためです。4月生の場合、履修期間は4月から翌年3月となるため、5月と11月の2回のスクーリング出席によって履修年度内にスクーリング受講を終えることができます。10月生の履修期間は10月から翌年9月となるため、11月と翌年5月の2回のスクーリング出席によって、履修年度内にスクーリング受講を終えることができます。
- ・したがって、スクーリングを欠席された場合は、履修年度内にスクーリング受講を終えることができなくなるため、1回目のスクーリングと2回目のスクーリングにかかわらず、次年度に再スタートしていただくことになります。再履修手続きのうえ、希望申請から再度やり直すことになります。
- ・ただし2回目スクーリングの欠席に限り、急病等(要診断書)の特別な事情を考慮される場合があります。万が一、2回目スクーリングを欠席してしまった場合は、まずは研究指導教員・主研究指導教員にご相談いただき、期日内に必要な手続きをとってください。特別な事情であることが認められた場合のみ、2回目スクーリングを半年延長することができます。
- ・最終提出物(共生研究論文、共生研究制作物・報告書、卒業論文)を期日内に提出できなかった場合も、再履修となります。この場合は、スクーリングの受講は不要です。ただし、再履修の手続き後に、改めて卒業申請を行う必要がありますので、ご注意ください。
- ・再履修の学費については、別途事務局にお問い合わせください。

以上